

専修大学附属高等学校 季刊だより

# Buddy!

★バディ!

先生に聞く!  
様々な授業スタイル

生徒会 Presents

追跡! 専大附属の1日

先輩からの手紙

OB・OGの活躍

国際交流

語学研修体験記

特集

## クラブ活動

吹奏楽部、柔道部、陸上競技部、男子バレーボール部、美術部の5クラブを紹介します!

専大附属ニュース

No. 74

平成28年7月20日

専修大学附属高等学校  
広報部

東京都杉並区和泉4-4-1

TEL.03-3322-7171

FAX.03-3322-9043

<http://www.senshu-u-h.ed.jp/>



第14回  
定期演奏会@セシオン杉並  
2016.3.25

—演奏曲目—

【第1部】

ARSENAL  
喜歌劇『メリー・ウィドウ』よりヴィリアの歌  
A WEEKEND IN NEWYORK  
蒼氓愛歌～三つの異なる表現で～

【第2部】

映画『ジュラシックパーク』よりサウンドトラック・ハイライト  
ドレミの歌  
Friend like me  
ムーンライト伝説  
A列車で行こう



表紙  
Pick Up!

# 吹奏楽部

吹奏楽部 技術指導者 坂本 悠介 先生



昨年度より吹奏楽部の技術指導を担当しております坂本と申します。  
みんな仲良く、追求の楽しさを持つ部活を目指して部員と練習に励んで  
おります。皆様に良い演奏を届けられるように努力しますのでご声援よろしくお願ひします。

部長



Hさん

昨年度から技術指導をして頂いている坂本先生、様々な面で部員をサポートして下さる平木先生、井上先生、野田先生のもと60人で団結して活動しています。吹奏楽部の主な行事として、入学式や卒業式、文化祭での演奏や夏のコンクール、アンサンブルコンテスト、そして年度末に定期演奏会があります。また、7月にはチアリーディング部と野球部と合同で野球応援をします。さらに昨年度は新しい試みとして、全国ポピュラーステージコンクールに出場しました。多くの本番の舞台に立つことで部活動として足りないもの、個人として足りないものが見えてきました。週6日の活動に加え、3年生の引退は3月の終わりという忙しい部活というイメージがありますが、部員同士仲が良く、毎日楽しいです！部員全員で1つの目標に向かって頑張れるのも良いところです。今はコンクールに向けて練習を重ねています。最後のコンクールなので悔いの残らないように頑張りたいです！



## 昨年度の主な実績

- 東京都高等学校吹奏楽連盟 A組：銀賞
- TAMAアンサンブルフェスティバル 管楽八重奏：銀賞／金管十重奏：金賞
- 東京都高等学校吹奏楽連盟 アンサンブルコンテスト 打楽器三重奏：銀賞／木管八重奏：銀賞

副部長



Hさん

こんにちは。吹奏楽部では、坂本先生の技術指導のもと、音楽の素晴らしさ、吹奏楽の楽しさを様々な舞台で経験してきました。アンサンブルコンテストでは、個人の技術向上をはかるためだけでなく、チームの音を聴き合うこと、また第九支部交流演奏会では同じ地区の高校が集まり、互いの演奏を聴き合うことで、新たな話題を見つけることができました。私たちは皆様の心に残る音楽を届けることを目標に、日々部員一人ひとりが自分の音に向かい努力しています。その成果を発揮することができるいずみ祭の体育館のステージに、ぜひお越しください！

特集

# クラブ活動

吹奏楽部、柔道部、陸上競技部、男子バレーボール部、美術部の5クラブを紹介します。

## 教頭から見た専大附属のクラブ活動

教頭 長谷川 素道

今年も431名の1年生が入学し、その内9割の生徒がクラブに加入しました。本校は、十分な施設に恵まれているわけではありませんが、どのクラブの活動も大変活発で、特に近年文化部は、全国大会や東日本大会出場、各コンクールでの受賞等、その活躍にはめざましいものがあります。本校は附属高校であるため、その特徴を生かし、クラブ活動にも存分に励んで欲しいと思います。ただ、クラブ活動は、挨拶や礼儀、公共の場でのマナー、努力することの大切さ等、技術以外のことも学ぶ貴重な場です。「強くなればよい」「上手くなればよい」だけでなく、クラブ活動に参加する意味を考えながら、専大附属での有意義な三年間を送って欲しいと思います。



# 柔道部

ほぼすべての部員が高校で柔道と出会い、日々の練習を通して心身ともに成長できるように熱心に取り組んでいます。技術面での向上は言うまでも無く、「精力善用」の柔道精神を踏まえ、柔道を通して人としての在り方・生き方といったことを体得しています。



高澤 雅宏 先生



Yくん

顧問 自分本位に自分自身のことだけでなく、他の人と共に栄えていくという「自他共栄」の柔道精神の基に、1年生から3年生まで学年に関係なくお互いを尊び敬うという関係が作られています。競技力ばかりに目を向けず、悔いの残らない充実した高校生活を送るため強い自分を創造し、人として正しく大きく成長するために柔道に動んでみませんか。

部長 部員のほとんどが初心者で高校から柔道を始めました。柔道という辛い・痛い・キツイのイメージだと思いますが、意外と直ぐにのめり込み、気づいたときには夢中になれる競技です。日々の練習を通して人としても成長でき、心身ともに強くなれる最高の部活動です。柔道部は部員を常時募集しています。初心者の人も大歓迎です！

## 昨年度の主な実績

- 関東大会予選東京都第3支部大会 男子団体：第3位 / 女子団体：優勝
- 関東高等学校柔道大会東京都個人戦 女子個人63kg級：第5位
- 全国高等学校総合体育大会柔道競技 東京都第3支部大会 男子団体：第3位 / 女子団体：優勝
- 全国高等学校総合体育大会柔道競技 東京都予選 男子団体：ベスト16 / 女子団体：第5位
- 全国高等学校柔道選手権大会 東京都第3支部大会 男子団体：第3位 / 女子団体：優勝
- 全国高等学校柔道選手権大会 東京都予選 女子団体：第5位

# 陸上競技部

元気で明るく、陸上経験者は少ないですが、自分たちの目標に向かい日々活動しています。辛い練習も部員同士励まし合い、一生懸命行っています。毎年、関東大会へ出場する選手もいますが、部員全員で勝ち取った結果です。お互い支え合いそれぞれの個々の記録を毎年更新しています。



左) 田口 佳奈 先生  
右) 月橋 典寛 先生



Oくん

顧問 今年度も関東大会出場が決まりました。部員一丸となり日々練習に励んでいるため、とても活気が出てきています。今回の個人の関東大会出場は部員全員でつかんだ結果だと思っています。学校生活中心に部員それぞれ結果を出すまでの過程を大切に取り組んでいます。

部長 陸上部は男女合わせて約50名の部員と共に週5日で活動しています。皆、それぞれの目標に向かって仲間と切磋琢磨し合い日々汗を流しています。また、先輩・後輩の仲もとても良く明るい雰囲気の中で練習しているのでとても楽しい部活です！



## 昨年度の主な実績

- 女子走り高跳び インターハイ出場
- 男子円盤投げ 南関東大会出場
- 女子100mハードル 新人関東大会出場

# 男子バレーボール部

東京都ベスト16・関東大会出場を目指して日々の練習に励んでいます。中学校でバレーボールをしていた部員は各学年2名程度ですが、部員全員が一丸となり継続して努力するため、引退する頃には見違えるほど成長をしています。



服部 竜也 先生



Yくん

顧問 日々の練習と集団生活を通して、バレーボールの技術の向上を目指すことはもちろん、人間力の向上を目指しています。高校で何かに全力で取り組みたい生徒たちが大きく成長できるクラブです。

部長 私たち男子バレー部は週に6日活動しています。日曜日には大会や他校との練習試合をしています。先輩・後輩関係なく仲の良いクラブです。東京都ベスト16を目指して日々の練習に取り組んでいます。



## 昨年度の主な実績

- インターハイ予選 ベスト48
- 9支部大会 第3位
- 冬季私学大会 ベスト32

# 美術部

クラブとして集団で取り組むのは、文化祭のウェルカム横断幕、夏の合宿、美術館研修のみです。あとは部員それぞれが、自分のテーマを決め、油絵や水彩、立体など自由に表現しています。制作した作品は、文化祭はもちろん、私学や全国公募の美術展にも出品しています。



吉田 正 先生



Yさん

顧問 自分の居場所が欲しい人から将来美術の道を志したい人まで、幅広い人材が在籍する美術愛好家の集団です。時には行事のポスターや表紙、Tシャツのデザインなど、時には自分のメッセージを込めた作品展示などと、自分を発揮できる場所がここにあります。

部長 美術部では、各々が好きな表現や制作を自由に行うことができ、アットホームな雰囲気の中、楽しく温かい気持ちで部活に参加することができます。自分のペースで制作できるので、他クラブとの兼部も可能です。



## 昨年度の主な実績

- 第43回東京私立中学・高等学校 生徒写真美術展出品
- 第60回全日本学生美術展 佳作

# ナビを究める = 様々な授業スタイル!

感じる・傾聴することを通して、あらゆる可能性を広げていけるのが専大附属の授業の特徴です。い何かを発見し、知らない世界と出会う学びの楽しみを味わってください。



保健体育科  
田中健二郎先生

## 安全 努力 充実



安全面に配慮し、安心できる環境を心がけ、限られた施設のなかでたくさんの運動時間を取るようにと考えています。実技試験に向け、努力を重ねることで試合形式の授業でも生かせる技術

を身につけ、積極的な授業参加を目指しております。また、3年間の体育実技の中で10年後、20年後と生涯を通じてスポーツをするきっかけ作りともなるようお互いを思いやり、時には教え合いスポーツがもつ多様な魅力を楽しんでいると感じてもらうことが何より大事だと考えております。



んで、考える  
を身につけよう～



「なるほど。」  
「わかった!」  
の声を大事にしています

一言で言うと、対話を活用する授業です。個と個の対話、作品との対話、先生と生徒との対話、など様々な対話を通じて作品が心に届くように努めています。一斉授業だけではなく、ペアワークやグループワークなどの参加型を取り入れたことで、古典を自分たちで読み解く面白さを感じる生徒が増えたように思います。また、知識や文法の学びがなぜ必要かを体験的に理解することで、そこから積極的な学習態度が育ち始めると感じます。



国語科  
平澤千秋先生

# 専大附属 + コウキシンを満たす × マ

まずは好奇心（コウキシン）の扉を開けてみてください。一つの学びから、書く・読む・動かす・個性豊かな教員陣が皆さんの思いや考えを全力で受け止めます!! 毎日新し



地理歴史科  
杉山比呂之先生

## 観察、考察、 そして表現へ

筆を持つ機会が昔より少ないのでとにかく練習は大事ですが、やみくもに書いても良い書が書けるとは限りません。書の古典の美はどこから来るのか、美に近づくにはどうしたらよいかを考えることも大事です。そこで一斉授業のほかに、添削では生徒の考えを聴くことに重点を置いています。実技を通して観察、考察、そして表現をすることは、書道以外の分野でも必要とされることだと思います。年度により多少変動しますが、1学期は

楷書、2学期は行書、3学期は仮名を中心に学習します。途中に篆刻や隷書などもします。第9支部の書道検定に年3回、和洋女子大の競書大会、全日本高等学校書道コンクールへも出しています。文化祭にも主に創作の学習の成果を展示しています。



例年、保護者の方の受講もあります。高校で体験する書道はわずかですが、生涯にわたり書を愛好してほしいと思います。



土曜講座「書道入門」担当  
吉田雅雄先生

## 場を創り、場に価値を ~目指せ!アクティブラーナー!!~

“場を創り、場に価値を”この言葉をモットーに、地理歴史科（日本史）&土曜講座「チーム作り」・総合学習「チーム・組織を考える」を担当している杉山です。「杉山の日本史」では、以下のキーワードを軸に展開しています。また、2015年度からは本校の生徒が撮影・編集した杉山の日本史オンデマンド（SNO）という講義映像を配信し、生徒の予習・復習を促しています。生徒・教職員全員が“アクティブラーナー”になること!この目標を達成するために日々自らがアクティブラーナーになっています。

アクティブラーニング	傾聴 (コーチング)	KP法 (アウトプット)
モチベーションマネジメント	杉山の日本史	チームビルディング
実物史料 (切実さ)	ファンリテーション	対話型リフレクション

※「杉山の日本史」「チーム作り」・「チーム・組織を考える」の詳細はHPを参照。  
<http://www.s-teamdesign.org/>



~高校3年間で学  
=生きる力

# 追跡! 生徒会 Presents 専大附属のとある1日



今回、ナビゲーターを務める、生徒会執行部のHとMです！早速、専大附属のとある日の1日を見てみましょう！

ナビゲーター

H M

START!

登校



8:30までに登校します。みんな仲良く楽しそうに登校していますね！

午前授業

体育の授業ではみんな生き生きとします！自分の好きな競技に巡り合えるかも…！



朝読書

8:30から10分間、読書をします。朝、みんな集中して本を読む、大切な時間です！

昼食

教室やブレイロット、食堂などで食べています。午前中の疲れを癒す、束の間の一時！ブレイロットなど、外で食べるのは気持ちがいいです。



午後授業

国際交流が盛んなので、英語の授業が多いです！みんな積極的に交流しています！



放課後

生徒会

私たちは生徒会室に行きます。生徒会室では学校行事の話合いなどを行っています！



クラブ活動 放課後の楽しみ！自分の好きなことに没頭しています！

下校

今日も充実した1日が終わりました。また明日も頑張らしましょう！

専大附属の1日はいかがでしたか？みなさんも是非一度専大附属へ！

GOAL!



# OB・OGの活躍

## ◆◆◆ 平成27年度 専修大学「川嶋記念学術賞 学部総代」◆◆◆



商学部 総代 M (商学部マーケティング学科)

皆さんの先輩として、良い成績を取るための心掛けをご紹介します。それは、好奇心を持って授業を聞くこと。皆さん、好きな授業は試験で良い点を取れますよね？興味を持れば内容も自然と頭に入り、より楽しく感じられます。大学では自分で履修を組めるので、楽な授業ではなく、ぜひ興味のある授業を選択して充実した学生生活を過ごしてくださいね。

高校時代は、控えめだけれども、自身の揺るぎない意志を持った芯の通った生徒でした。何事にも手を抜かず、丁寧に取り組んでくれるので、安心して仕事を任せていました。成績は常に上位。よく努力し、いつも人の話をよく聞く姿勢が、今のMさんにつながっていると思います。この受賞を励みにし、今後社会に出て活躍することを願っています。

(在校3年次クラス担任 豊後恭子教諭)



人間科学部 総代 I (人間科学部心理学科)

このたび、専修大学を卒業するにあたって川嶋記念学術賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。正直なところ、まさか私を受賞できるとは思っていなかったため、驚きとともに、今まで以上に努力していこうと改めて気を引き締めていく所存です。

在校当時から抜群の成績でしたが、いかにも秀才、という感じではなく、とてもほのぼのとしていて、人に安心感を抱かせる生徒だったとの印象を持っています。偶然、今年の3月に専大の生田キャンパスで会った際には、その話は出ませんでした。普通なら自慢するようなことなのに、何も言わなかったところからも彼女の人となりがわかります。改めてIさんの今後の活躍を祈念するとともに、在校生諸君には良い見本として目標にしてほしいと思います。

(在校3年次クラス担任 布施良太教諭)

## ◆◆◆ 平成27年度 公認会計士合格者 ◆◆◆

金子 克弥 (経営学部経営学科 H27年度卒)

星 祐太 (ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科 H27年度卒)

### 寄付者芳名

平成二十七年五月から平成二十八年四月末までにご入金が確認された方々

本校では、あらゆる面で教育指導や学習の場にごさわしい教育環境の整備を進めるため、「教育振興協力資金」の募金活動を実施しております。

平成二十七年五月から平成二十八年四月末日までに、七十九件、千四万五千九百九十五円の浄財が寄せられました。多額のご賛同を頂き深く感謝申し上げます。

なお、「教育振興協力資金」についてのお申し込み、お問い合わせは本校事務局(電話〇三―三三三二―七七一)までお願いいたします。

#### ■法人・団体

専大センチュリー楼  
専修大学附属高等学校後援会様  
専修大学附属高等学校卒業対策委員会様

#### ■個人

小野 博良様	吉野 伸子様	林 修平様	松ノ井 要様
錢谷 正勝様	長友 克洋様	稲邊 知夫様	中野 重夫様
渡辺 優様	山岡 理子様	小林 年幸様	平野 健治様
新堀 明様	久保美枝子様	和田 祥浩様	伊木 繁雄様
廣田 晴一様	三輪慶一郎様	和達 潔様	犬飼 知子様
坂本 憲一様	清水龍太郎様	小鹿 淳一様	奥田 秀毅様
能城 迪裕様	豊嶋 丈人様	佐藤 義宏様	阿佐美達也様
中瀬 克広様	櫻井 正文様	鈴木 利之様	吉田 和紀様
石原 豊史様	南 憲吉様	古川 眞理様	後藤 秀昭様
岸 伸一郎様	宮坂 廣一様	大塚 裕生様	川嶋 功治様
鍋谷 究様	高柳 和男様	橋爪 誠様	舌間 真織様
荒川 泰昌様	小作 直義様	南川昇次郎様	隈元 仁志様
遠藤 勝巳様	加納 真一様	村田 義彦様	須賀 教晋様
有賀 裕一様	布袋 弘美様	末武 奉樹様	小野 哲様
千葉 昭彦様	早川 隆雄様	百瀬 秋裕様	河井 孝之様
梶村 由美様	増田 興旺様	後藤 英明様	古市 明生様
比佐 泰章様	山本 学様	高橋 勝治様	辻本 一志様
西山 知宏様	森住 真吾様	羽賀慶比古様	高橋 幸子様
窪田 聡様	五十嵐快英様	風見 勉様	向井 利之様

国際交流

# Let's Make Good Memories of Trips to Foreign Countries!

第1歩目の海外研修



人気No.1のプログラム

2週間でしっかり  
国際人デビュー

夏期オーストラリア  
語学研修

2016. 7. 26~8. 8

海外旅行ビギナーでも安心して参加できます。  
ホームステイ先の暖かさに触れながら、  
楽しく英語を習得できます。



3年E組 Y

オーストラリア体験記

行く前は、英語が苦手で、ホームシックになりそうで  
2週間過ごす自信がなかったのですが、私の英語力  
でも思ったより通じて、ホストファミリーがいつも  
優しく話を聞いてくれました。学校生活では、  
ホストファミリーに毎日車で送ってもらい、  
帰りも同じ方面の生徒に車に乗せてもらうなど、  
日本ではできない経験に戸惑い、新鮮にも感じました。  
現地ですぐできた友人も皆親切で、学校内で進んで案内し  
導いてくれて、その優しさに感動することがたびたび  
ありました。思い切ってホームステイを体験してみて、  
本当に良かったと思います。



ひとまわり  
大きくなって帰国



期間No.1の  
プログラム



3ヵ月でしっかり英語を習得

カナダ  
中期語学研修

2016. 8. 7~11. 27



英語力に自信ができてきた人にお勧めです。  
3ヶ月滞在中には、様々なアクティビティーを通  
じて、カナダの自然・文化に多く触られます。  
さらに英語力に磨きがかかること間違いなし!

1番近いアジアの国へ



伝統No.1の  
プログラム



5日間でしっかり韓国を満喫

夏期韓国研修旅行

2016. 8. 19~8. 23

身近なぶん、交流も密に取ることができ  
るでしょう。12月には相手校が来校する  
ので、うれしい再会のチャンスあります!



Develop your English.  
Widen your View.



## 編集後記

第74号が完成しました。投稿して頂いた皆様、ありがとうございました。  
「Buddy!」となって4年目を迎えた今号は、リニューアルをしてお届けとなります。  
今まで以上に、専大附属の生徒にフォーカスした新聞を目指していきます。  
連載企画も見直し中です。ご期待ください!

## ■お問い合わせ先

専修大学附属高等学校  
〒168-0063 東京都杉並区和泉4-4-1  
TEL.03-3322-7171 FAX.03-3322-9043  
URL <http://www.senshu-u-h.ed.jp/>  
MAIL [nyuushi@senshu-u-h.ed.jp](mailto:nyuushi@senshu-u-h.ed.jp)

